



「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



| 令和6年1月26日（金） 岐阜県発表資料 | | | |
|----------------------|------------------|-------|--|
| 担当課 | 担当係 | 担当者 | 電話番号 |
| 清流の国ぎふ文化祭推進課 | 全国障害者芸術・文化祭事業推進係 | 間宮 裕二 | 内線 3172 直通 058-272-1976 FAX 058-278-2660 |

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024＞

「文化芸術共創プログラム」身体表現ワークショップを開催します

「清流の国ぎふ」文化祭2024で実施する「文化芸術共創プログラム」に向けて、テーマとなる「共に創る、楽しむ、学び、伝える」について考え、学び、体験し、創造するワークショップとフォーラムを開催しています。

今回は、熊谷佳代^{くまがいかよ}氏を講師に迎え、1本の襷^{たすき}と身体を使って昔のあそびの要素を取り入れながら、いろいろな表現を楽しみます。多様な人同士がつながり、共に創る無限の表現を通して心と身体を解放する身体表現のワークショップです。

なお、襷は12月に開催した同プログラムのクラフトワークショップで製作したものを受け継いで使用します。

記

1 開催日時

令和6年2月3日（土） 13:00～16:00

2 開催場所

ヤマカまなびパーク 学習室502（多治見市豊岡町1-55）

3 講師

熊谷 佳代氏（岐阜大学教育学部教授）

4 参加予定者

事前申込者 20名（定員に達し次第締切）

5 参加費

無料

6 その他

プログラムの詳細は「清流の国ぎふ」文化祭2024公式ウェブサイトをご確認ください。

ウェブサイト



◆文化芸術共創プログラムの概要◆

「共に創る、楽しむ、学び、伝える」ことをテーマに立場や環境の違い、障がいの有無に関わらず、多様な人々が関わりあい共に生きる社会のありかたを考えるプログラム。

※「共創」とは、さまざまな立場の人たちと対話しながら、新しい価値観を「共」に「創」り上げていくこと。

◆クラフトワークショップについて◆

日 時：令和5年12月16日（土）10：00～15：00

場 所：紙布工房「空桜」

講 師：^{なかたに}中谷 さとみ氏（紙布作家）

内 容：昔ながらの腰機（こしばた）で天然素材の古布を使った襷（たすき）を製作

◆「文化芸術共創プログラム」ワークショップ今後の開催予定◆

（1）ともにつくる、かなでる、ものがたる 音楽表現ワークショップ

日 時：令和6年2月18日（日）13：00～16：00

場 所：高山市民文化会館4-7大会議室（高山市昭和町1-188-1）

定 員：20名

講 師：^{ふじわら}藤原 ひとみ氏（パーカッショニスト）

（2）ともにかたらい、つながり、いきる つながるフォーラム

日 時：令和6年3月2日（土）10：00～15：00

場 所：^{あずまや}長良川うかいミュージアム四阿（岐阜市長良51-2）

定 員：50名

パネリスト：^{きたがわ}北川 ^{ゆうじ}雄史氏（社会福祉法人いぶき福祉会専務理事）

^{やすい}保井 ^{まどか}円氏（宿屋揖斐川オーナー・大和神社宮司）

^{かわかみ}川上 ^{こうじ}宏二氏（岐阜市社会福祉事業団理事・障がいサービス事業統括施設長・相談支援専門員）

^{ふじわら}藤原 ひとみ氏（みんなの笑顔を守る会瑞穂支部 Mizu-tama 代表）

^{かのう}加納 ^{たいゆう}大裕氏（清流みずほ認定こども園園長・総純寺学園理事長）

^{いちかわ}市川 ^{なおき}尚樹氏（市川製茶代表・岐阜自慢ジカブプロジェクト会長）

◆「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要◆

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024（両大会をあわせた名称）
- 3 キャッチフレーズ ともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 4 基本方針 ①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
②次世代を見据えた文化芸術の創造
③文化芸術で人が輝く共生社会の実現
④国民文化の大交流の実現
- 5 主催者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 ほか
- 6 会 期 令和6年10月14日（月・祝）～11月24日（日） 42日間